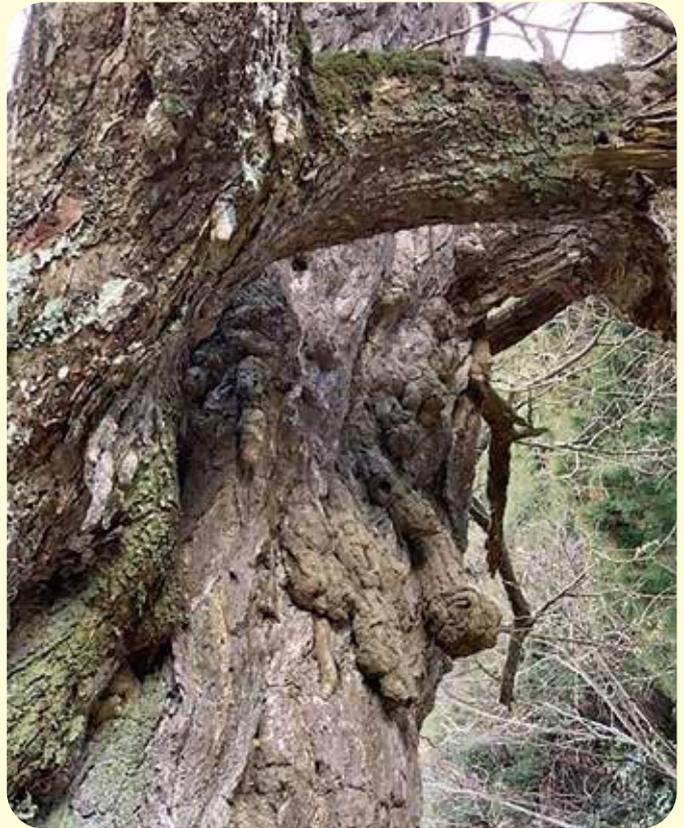


令和5年2月25日発行  
 発行/宇佐市議会  
 直通:0978-32-2328  
 Fax:0978-32-1437

# 宇佐市議会



## 西椎屋「大銀杏」

院内町西椎屋の西椎屋神社の境内にある大銀杏は、樹齢1300年と伝えられる県下最大の大銀杏で、市指定天然記念物に指定されており、地元の方々により大切に保護されています。根回りは13m、樹高は約40mの大銀杏で、幹に点在する乳房様の気根が下がっており「母乳促進の効果があると」言われ、母乳の出ない人が木から出ている気根に触ると、母乳が出るようになると言われていています。色づく頃はとても美しく、見る人の目を楽しませてくれます。

(河野 睦夫)



市観光協会 HP

12月定例会

○令和4年度宇佐市一般会計補正予算ほかを可決

臨時会

○新型コロナウイルス感染症関連予算ほかを可決

スマホも対応!

議会ホームページ

宇佐市議会 検索

目次

12月定例会の概要・本会議の審議結果	.....P. 2~3
12月定例会の一般質問	.....P. 3~10
臨時会の結果・傍聴のご案内・決算特別委員会ほか	.....P. 11
新年のごあいさつ	.....P. 12



# 12月定例会の概要

令和4年12月第6回定例会が、11月29日から12月21日までの23日間の会期で開かれました。

市長から提出された議案21件（予算案6件、条例案11件、人事案1件、その他議決案3件）を原案のとおり可決・同意しました。また、請願3件のうち1件を採択、2件を閉会中の継続審査とし、議員提出議案および意見書案を原案のとおり可決しました。

## 〔人事案〕

宇佐市固定資産評価審査委員会委員  
上鶴 美輝 氏（院内町二日市）

## 〔本会議第1日〕（11/29）

①議案等の上程及び説明  
②継続審査、調査となっていた付託事件の報告の後、質疑・討論・採決

## 〔本会議第2日〕（12/6）

①追加議案の上程及び説明 ②一般質問

## 〔本会議第3～5日〕（12/7～9）

①一般質問

## 〔本会議第6日〕（12/13）

①議案質疑 ②議案等の委員会付託

## 〔本会議第7日〕（12/21）

①委員会の審査報告と質疑・討論・採決  
②追加議案（人事案）の上程、質疑・討論・採決

③議員提出議案の上程、質疑・討論・採決

④意見書案の上程、質疑・討論・採決  
⑤閉会中の継続審査及び調査

## 本会議の審議結果

### ○議案

（※印は全会一致でない議決）

番 号	件 名	付託委員会	結 果
議 第 53 号	令和4年度宇佐市一般会計補正予算（第7号）	各常任委員会	原案可決
議 第 54 号	令和4年度宇佐市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	文教福祉	//
議 第 55 号	令和4年度宇佐市介護保険特別会計補正予算（第2号）	//	//
議 第 56 号	令和4年度宇佐市水道事業会計補正予算（第1号）	産業建設	//
議 第 57 号	令和4年度宇佐市下水道事業会計補正予算（第1号）	//	//
議 第 58 号	宇佐市立北馬城小学校高築珠美子寄附基金条例の制定について	文教福祉	//
議 第 59 号	宇佐市廃棄物の適正処理及び再利用等に関する条例の一部改正について	総 務	//
議 第 60 号	宇佐市特定公共賃貸住宅条例の一部改正について	産業建設	//
議 第 61 号	指定管理者の指定について（宇佐市地域交流ステーション）	総 務	//
議 第 62 号	指定管理者の指定について（津房老人憩の家、佐田老人憩の家、深見老人憩の家）	文教福祉	//
議 第 63 号	市道路線の認定及び変更について	産業建設	//
議 第 64 号	令和4年度宇佐市一般会計補正予算（第8号）	各常任委員会	//
議 第 65 号	宇佐市個人情報保護法施行条例の制定について	総 務	// ※
議 第 66 号	宇佐市情報公開・個人情報保護審査会条例の制定について	//	//
議 第 67 号	宇佐市情報公開条例の一部改正について	//	//
議 第 68 号	宇佐市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	//	// ※
議 第 69 号	宇佐市特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例の一部改正について	//	// ※
議 第 70 号	宇佐市職員の給与に関する条例の一部改正について	//	//
議 第 71 号	宇佐市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	//	//
議 第 72 号	宇佐市職員の定年等に関する条例等の一部改正について	//	//
議 第 73 号	宇佐市固定資産評価審査委員会委員の選任について	付託省略	原案同意

### ○継続審査となっていた議案

（※印は全会一致でない議決）

番 号	件 名	付託委員会	結 果
議 第 47 号	令和3年度宇佐市一般会計歳入歳出決算の認定について	決算特別	原案認定※
議 第 48 号	令和3年度宇佐市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	文教福祉	// ※
議 第 49 号	令和3年度宇佐市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	//	// ※
議 第 50 号	令和3年度宇佐市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	//	// ※

○議員提出議案

(※印は全会一致でない議決)

番号	件名	付託委員会	結果
議員提出議案第4号	宇佐市議会の個人情報の保護に関する条例の制定について	付託省略	原案可決※

○請願

番号	件名	付託委員会	結果
請願第2号	教職員が保護者や地域とつながり、地域に根ざした学校教育活動ができるための環境づくりを求める意見書採択の請願書	文教福祉	採 択
請願第3号	消費税インボイス制度の実施延期を求める意見書を国に提出することを求める請願書	産業建設	継続審査
請願第4号	国に「旧統一教会」の解散命令請求と被害者救済を求める意見書提出の請願	総 務	//

○意見書案

番号	件名	結果
意見書案第6号	教職員が保護者や地域とつながり、地域に根ざした学校教育活動ができるための環境づくりを求める意見書	原案可決

○全会一致でなかった採決結果

議案番号	河野健治朗	吉田泰秀	赤野道和	若山雅敏	中本毅	川谷光紹	和気伸哉	多田羅純一	河野睦夫	衛藤義弘	井本裕明	辛島光司	今石靖代	新開洋一	林 寛	大隈尚人	高橋宜宏	中村明美	永松 郁	浜永義機	衛藤博幸
議 第 47 号	○	○	×	○	○	○	○	除斥	○	○	○	○	×	○	○	○	欠	○	○	○	○
議 第 48 号	○	○	×	○	○	○	○	除斥	○	○	○	○	×	○	○	○	欠	○	○	○	○
議 第 49 号	○	○	×	○	○	○	○	除斥	○	○	○	○	×	○	○	○	欠	○	○	○	○
議 第 50 号	○	○	×	○	○	○	○	除斥	○	○	○	○	×	○	○	○	欠	○	○	○	○
議 第 65 号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	議	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議 第 68 号	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	長	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○
議 第 69 号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	職	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○
議員提出議案第4号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○		○	×	○	○	○	○	○	○	○	○

原案に賛成：○ 原案に反対：× 欠：欠席 除斥：監査委員のため

# 危機感を持った少子化対策を



問② 観光戦略について。  
本市は湯布院と別府に隣接しており、特に安心院・院内においては片道30分圏内と周遊観

答 社会全体で結婚を応援する雰囲気醸成し、より関心を持っていただけると考え、幅広く情報が提供できるように努める。

問① 人口減少対策について。  
出生率向上の具体的な取り組みとその効果は。

答 妊娠時から出産・子育てまで切れ目のない支援を充実させている。その結果、合計特殊出生率は、5年前の1.83から1.63と低下傾向にあるものの、大分県や全国の数値を上回っており、一定の成果が表れている。

問③ 健康体操やふれあいサロンの活動は高い評価を頂いているが、その効果をどのように感じているか。

答 介護認定率において、平成24年に21%であったものが、平成29年には19%となっており、通いの場が高齢者の身体機能の向上や認知機能低下の防止に役立っている。今後も、皆さんの意見を伺いながら、それぞれの教室を維持するために必要な支援に努める。

問③ 健康体操やふれあいサロンの活動は高い評価を頂いているが、その効果をどのように感じているか。

答 介護認定率において、平成24年に21%であったものが、平成29年には19%となっており、通いの場が高齢者の身体機能の向上や認知機能低下の防止に役立っている。今後も、皆さんの意見を伺いながら、それぞれの教室を維持するために必要な支援に努める。

答 平坦地から準高冷地までの標高差を活かした品種、有機米、棚田米といった特色ある米の発信を行ってきた。今後も、積極的にPRし、宇佐米の魅力向上に取り組む。

答 立ち寄り観光や宿泊地からの日帰り観光等を視野に入れ、観光プランの提案やツアー造成補助などを行っている。

答 二つの世界遺産を有する本市にふさわしい食材として「米」を地域の食文化の魅力として取り上げてみてはどうか。

答 平坦地から準高冷地までの標高差を活かした品種、有機米、棚田米といった特色ある米の発信を行ってきた。今後も、積極的にPRし、宇佐米の魅力向上に取り組む。

光に最適な位置にあるが、観光誘客のアプローチは行っているか。

# 遅きに失した養豚場問題を問う



高橋宜宏 (至誠会)

市政一般に対する質問は、本誌では一部を掲載していますが、詳しくは、議会のホームページからインターネット映像をご視聴ください。

問① 違法な放流問題について、6月議会では「7月20日を期限とし放流許可申請書の提出を求めた。提出されなければ勧告を出すとの文言も入れた。」との答弁があったが、どうなったのか。

答 業者から現況調査等に関する進捗状況と、今後の計画について報告書が提出された。計画に具体性があり、調査等の進捗状況を毎月報告することを条件に、放流許可申請書の提出期限を11月30日まで延長した。なお、調査に時間を要することから申請書は未提出だが、11月28日に放流ルート等が提出され、地元との協議が開始できる状況となった。今後地元との協議を進め、早急に申請書の提出を指導する。

問② この問題を指摘して、早4年6カ月が経過。旧院内町を入れると数十年にわたって見過

ごされてきた。悠長過ぎないか。  
答 今まで申請書が提出されなかった問題については、反省する点があると認識している。

問③ 違法な擁壁の問題について、5月23日になっても是正計画書が提出されなかったため、5月25日に「是正勧告書」を出した。勧告書の期限は11月30日までというところだが、是正は。

答 勧告後に建築主から建築士を替える旨の連絡があり、新しい建築士からは随時進捗状況等の報告書が提出されている。まだ是正に至っていないが、建築主も是正の意思を示し、是正方法、工事計画の作成を進めるなどの姿勢が見られるので継続して指導を行っている。今後も早期是正に向け、業務区分や工程を明確にさせながら指導を行う。

問④ 擁壁の問題も、市が違法性を認めて3年8カ月余りが経過した。当時答弁した課長は、「民・民の問題」と逃げた経緯もある。市長は養豚場問題について何らかの反省はないか。

答 法が定めるところに従い指導してきた。時間はかかっているが、是正に向けて具体的に動き出してきた。早期の是正に向け、引き続き指導して参りたい。

# 消防団員の報酬引き上げを



和気伸哉 (求道会)

問① 行政改革において多くの地方自治体が、その効果の一つとして「専門性の向上」を掲げているが、本市では「専門家」と呼ぶに相応しい人材を確保できているか。

答 本市の地域雇用創造協議会と連携し、大学や専門学校、高校などに専門職募集の情報提供を行うとともに、企業説明会に参加し、人材確保に努めている。

問② 消防団員の報酬は、国が示す標準額まで満たしていない。本市の防災力向上のためにも処遇改善し、引き上げられないか。

答 消防団の処遇改善は、団員の士気向上や家族等の消防団活動への理解を得るためにも不可欠であり、団員の確保、また、地域消防防災力の一層の充実・強化に繋がると考え、国の通知に基づき、年額報酬及び出勤報

酬の引き上げに向け関係課と協議を始めた。

問③ 以前より、JR宇佐駅のバリアフリー化やトイレ改修、周辺整備等を提言してきたが、JR九州への要望の進捗状況、また独自財源での取り組み等は考えられないか。

答 JR九州や九州運輸局に対して継続的に要請を行っている。今後は、県と連携してプロジェクトチームを立ち上げ、何らかの活性化策を取りまとめたい。

問④ 平成8年に計画された広域営農団地農道整備事業は、立石地区で停滞している。国道10号線へ繋ぐ計画が実施困難ならば、国道213号線へ繋ぐ計画を県に再度要望し、早期に交通の流れを作るべきではないか。

答 本年10月に立石を含む封戸区長会並びに西木区長の連名で要望書が市に提出され、県へ進達した。今後の進め方について、県北部振興局に確認したところ、路線に関わる北馬城、封戸区長会等関係者との調整を図り、事業の方向性を決めたいとのことなので、市としても事業が進むよう県と連携していく。

# 消防団報酬引き上げに向け協議開始



赤野道和 (日本共産党)

問① 市道に架かる橋の総点検、早期の改修で安全対策を。

(1) すべての橋りょうの総点検を早急に実施するべきだが。

答 現在749橋あり道路法のもと5年ごとに点検をしている。

(2) レベル3の「早期に措置を講ずるべき状態」の橋については、早期に改修するべきだが。

答 レベル3の橋は108橋あり、本年度まで69橋着手し、残る39橋の改修は、今後計画的な点検・改修等に努めていく。

問② 今年も暴落している主食米への助成を。

(1) ミニマム・アクセス米輸入をストップさせるよう、国へ働きかけるべきではないか。

答 国の動向を注視したい。

(2) ヒノヒカリの概算金は、去年と同じ1億1千万800万である。今年も農家支援を行うべきでは

ないか。

答 農林水産省発表でヒノヒカリは、令和3年産対比で4%上昇しており、今後、精算金の追加支払いが期待される。

問③ 今年度策定中の「宇佐市人権施策実施計画」について。

(1) 従来からの枠組み・柱建て自体を見直す必要があるのでは

答 総合的に判断していく。

(2) 昨年実施した「市民意識調査」には、差別を助長するもの、意識をたずねて観念的なものが含まれている。中止するか、調査項目を見直すべきではないか。

答 調査の中止は考えていないが、調査項目については、調査研究していく。

問④ 消防団員の確保・増員を図るために、処遇改善を具体化していくべきと考えるが。

答 国の通知に基づき、年額報酬・出勤報酬の引き上げに向け関係課と協議を始めたところだ。

問⑤ 市費負担教員の勤務形態や報酬など待遇改善を行って、不足を解消しようという努力をどのように進めているのか。

答 市教委では、学校現場や働く方の実情と照らし合わせながら、市総務課と協議をし、改善に努めてきたところだ。

市政一般に対する質問

# 誰もが安心して暮らせるために



川谷光紹 (求道会)

問① 地域のために。

(1) 周辺地域だけでなく、市の中心部でも高齢者の交通手段の確保が必要とされている。今後の公共交通計画の方針は。

答 持続可能な公共交通が求められており、利用者の予約に応じて運用されるデマンド型交通の導入を検討する。そのために、まちづくりと連携して取り組む必要がある。

(2) 移動スーパは、交通弱者だけでなく、自宅で介護をしている方や産前産後の子育て世帯など、幅の広い方々に必要とされている。市内の営業地域を把握するとともに、燃料代の支援等をしてはどうか。

答 営業地域の把握はできていないが、今後情報収集に努める。燃料等の価格高騰の支援は、小規模事業者等物価高騰対策事業

の対象なので活用して欲しい。

(3) 高校生議会で、「要介護者が希望の施設に入れない。」との質問があったが、現状は。

答 市全体としては、訪問診療・入所施設も十分な体制が整っている。家族が住む近くの施設に入所したいが、満員のため入所できない等が考えられる。

(4) 大雨や集中豪雨等による内水氾濫に対して、現在の取組状況と今後の方針は。

答 河川内の土砂や支障木の除去を計画的に行っている。雨水幹線排水路については、西町・本町地区は来年6月に完成予定、間地区は地質調査の業務委託を行っている。令和5年度から、川の上地区の基本設計の業務委託を行う予定となっている。

問② 子どもたちのために。

モバイルルーターの活用方法と、タブレット端末の休校時以外の活用方法は。

答 モバイルルーターは、家庭への貸し出しだけでなく、体育館や校外学習で活用している。タブレット端末による調べ学習や、学習ドリルソフト、学習支援ソフトを活用している。

※その他の質問

・地域団体の支援について。

# 「予約制乗合タクシー」を全市に



今石靖代（日本共産党）

問① 公共交通の確保を。

(1) 安心院地域でスタートする「予約制乗合タクシー」を早期に全市に広げるなど、病院や買い物に行く交通手段を確保できるようにするべきだが。

答 まちづくり協議会との連携等を導入スキームに盛り込むなど、早期拡大に向けて効果的な手順を構築していく。

(2) 中津市では要介護認定者へタクシー券を補助している。検討するべきでないか。

答 要介護認定者に限らず、高齢者施策で考えたい。

問② 国民健康保険税について。

(1) 「税が高すぎる。引き下げを」という声が大きい。値上げを避け、負担軽減策を。

答 県内でも低位であるが、来年度の値上げは考えていない。広域での一元化が検討されてお

市政一般に対する質問は、本誌では一部を掲載していますが、詳しくは、議会のホームページからインターネット映像をご視聴ください。

り対応していく。

(2) 子育て支援のために、18歳までの均等割の免除を。

答 国へ要望していく。

問③ ジェンダー平等をめざして。

(1) 学校の女子トイレへ「生理用品」の設置が実現して以来、公共施設にも進んできた。さらに進めるべきだが。

答 ウサノピアやさんさん館、公民館へも設置。さらに進める。

(2) 「パートナースhip制度」は、全国の人口普及率が62%になっている。誰もが自分らしく生きやすい社会のために、来年度から実施を。

答 審議会を導入に向けて取り組むことが承認された。環境整備が必要であり、啓発を行う。

問④ 生活困窮者への対応。

(1) 必要な方がためらわずに申請できるように「生活保護は国民の権利です」というポスター掲示など周知するべきだが。

答 相談時のわかりやすい説明に務め、掲示は考えていない。

(2) 生活保護など相談は、プライバシー保護のために個室を利用すべきだが。

答 相談者のプライバシーの保護に務め、相談室を利用する。

# 「減災シンポジウム in 宇佐」に向けて



中本 毅（令和新政会）

問① 1月末に行われる「減災シンポジウムin宇佐」に向けて、

市内4高校の生徒や大分大学の学生を対象としたフィールドツアーが実施された。宇佐市内にある過去の災害地や、災害が想定される地域を巡って学ぶ内容だったと聞く。宇佐市および大分大学減災・復興デザイン教育研究センター（CERD）が主催で、他に数多くの団体が解説・協力・調整に関わって頂いた。専門的な知見を有する大学との連携を通じた宇佐市の防災・減災に関する備え、地元高校生の災害学習、市外在住の大学生が宇佐市で活動することによる関係人口の増加、若者の活動による地域活性化など、さまざまな面で素晴らしい取り組みだと感じており、関係各位のご尽力に敬意を表したい。現状と課題は。

答 議員指摘の通り、1月29日に本市と大分大学減災・復興デザイン教育研究センターが共催で「減災シンポジウムin宇佐」の開催を予定している。これに先立ち、本年11月、市内の高校生15名およびセンター所属の大学生12名が市内3カ所の災害現場を巡り、過去の災害について地元の方や復興にたずさわった機関等の話を聞くフィールドツアーを実施した。また、今月中には、高校生および大学生が主体となり、未来の減災社会を目標に据えた防災・減災対策等についての提言内容をまとめる学生提案ワークショップを開催し、シンポジウムの際に発表する予定となっている。このほか本市や関係機関の専門的知見を有するパネリストによるディスカッションを行うなど、シンポジウムを通して広く市民に防災・減災について考えていただく。

本事業は、新型コロナウイルスの感染拡大により、過去2カ年、中止を余儀なくされてきたが、本年度は基本的な感染症対策の徹底を図りながら実施した。

# 学校給食の保護者負担軽減支援の継続を



河野睦夫 (政友会)

問① 学校給食について。

(1) 学校給食における地元食材の活用状況は。

答 毎月、地元食材を活用した「ふるさと給食の日」の実施や、地場産の食材を使用した商品構成に心がけ、子どもたちが給食を残さず楽しみながら、おいしく食べられるよう努めていく。

(2) 食物アレルギーのある児童生徒への対応は。

答 アレルギー除去食及び除去できない献立については代替食の提供を行っている。今後も児童・生徒の正確な情報共有を図り、安全性を最優先に給食の提供を行っていく。

(3) コロナ禍や物価高騰の対応策として、今年度、2学期・3学期の給食費を全額免除とした。今後も経済的負担が大きくなると思われるが、次年度も引き続き

き免除する考えは。

答 物価高騰による影響が続いている現状を踏まえ協議する。

問② 両合棚田の保全について。(1) 棚田の遊休農地の解消の取り組み状況は。

答 担い手が最大の鍵となるが、ひまわりの種まきなどの取組が展開されており、面積の拡充を行っている。今後も地域の声を聴きながら棚田の再生に向けた活動の支援をしていく。

(2) 棚田の保全において、作業環境を整備することも重要である。圃場への進入路等の整備はできないか。

答 棚田での圃場間の移動は危険を伴うものと認識しており、農業者の安全を図るために必要であるとの認識のもと、有効な方法を考えていく。

問③ 認知症対策について、「認知症の人と家族への一体的支援事業」の取り組みは。

答 市では以前より「認知症の人と家族の会」「認知症カフェ」など一体的支援に取り組んでいる。今後も、引き続き一体的支援にしっかりと取り組んでいく。

※その他の質問

・西大堀地区公園のテニスコート整備計画について。

# 給食費の無償化で少子化対策を



若山雅敏 (市民れんどう)

問① 少子化対策の柱の一つとして、保護者の子育てに対する

経済的負担軽減を図り少子化に歯止めをかけていくために、給食費の無償化を行うべきでは。また、財源として、ふるさと納税の一部を充当し市民の関心を高めれば、より市民と一体的にふるさと納税の推進につながるのではないか。

答 現在も物価高騰が続いており、多額の予算が必要であるがふるさと納税も堅調なため、何らかの形で子育て世帯の負担軽減を図られるよう、全体の財源を見ながら来年度の当初予算編成の中で取り組んでいく。

問② 指定ゴミ袋の値下げ支援を広域ゴミ処理施設の供用開始まで続けるべきではないか。

答 令和6年3月末まで1年間延長する条例案を今議会に提出

した。値下げ支援の継続については、今後も経済情勢や排出量の推移、各市の状況を踏まえ検討していく。

問③ 農業関係について、物価上昇による肥料等の経費に対する助成は行っているが、下落したままの米価による減収対策の支援がない。昨年同様の支援を行うべきではないか。

答 宇佐産米の概算価格は据え置かれ、依然厳しい状況であることは認識しているが、今後の精算金の追加支払いに期待したい。今後も、県や農協など関係機関と連携し、農業経営の安定化に努めていく。

問④ 当市は郵便局との個別協定を締結し事業に取り組んでいる。しかし、包括的連携に関する協定を締結することで、これから個別協定の一本化を図り、さらにラッピングポストを活用した観光振興等、さまざまな分野での活用がより一層図られるのではないか。

答 指摘どおりであり、日本郵便と一体となり、地域の問題解決や地域の活性化に資する活動を目的に、包括連携協定の締結に向け協議を重ねている。議員の提案事例も参考にしたい。

## 『ふるさとに、心をささげる。』



辛島光司（求道会）

市政一般に対する質問は、本誌では一部を掲載していますが、詳しくは、議会のホームページからインターネット映像をご視聴ください。

問① 生活と暮らしを守る。

(1) 社会情勢の変化や円高の影響によって、農業用資材や肥料の高騰に農業従事者が苦しんでいる。稲作はもとより、県の推進作物を取り扱っている園芸農家への支援を継続していかなければならない。市の考えは。

答 園芸農家に対しては、先の議会で承認された売上に応じて5〜10万円を支援する事業の受付期間を延期し、広く呼びかけたい。今後は、社会情勢等を注視しながら検討していく。

(2) 危険な横断歩道の把握は。また、4車線化が進んでいる柳ヶ浦高校前の横断歩道は、交通量の増加に伴い、近隣の方や学生への危険性が增大しており、街灯や信号の設置が必要では。

答 市内にある横断歩道569カ所のうち、信号のないものは

402カ所。柳ヶ浦高校前にある横断歩道については、4車線化道路整備に伴い地元から要望があり、警察署を通じて県公安委員会に上申している。街灯については、見守り灯や防犯灯の設置の補助を市が行っているの

で、ご相談いただきたい。

問② 子どもたちの未来を守る。

(1) 各小学校児童による総合運動場、図書館、児童館の利用状況を把握しては。また、中心部と周辺部の学校間で利用格差があった場合、市の対応策は。

答 学校ごとの利用状況は把握できていない。今後、利用状況の把握や分析を行い、利用格差が広がらないように努める。

(2) 西大堀の都市公園は、子どもから高齢者の方までが集い楽しめる場所となるよう求めてきた。公園内はもとより、公園への行き帰りの安全確保について市の考え方は。

答 トレーニングルーム、温水歩行用プール、10面のテニスコート、芝生広場には空気膜トランポリン、グラウンドゴルフコース、傾斜をつけた丘を配置する設計となっている。公園へのアクセス道については、地域と協議しながら安全対策に努める。

## 早期に通学路の安全対策を



多田羅純一（市民れんごう）

問① コロナとインフル同時流行に備えた対応は考えているか。

答 市ホームページ等を通じて感染予防対策の徹底やワクチン接種、検査キットの購入についてお願いするとともに、宇佐商工会議所等にチラシを配布する等、普及啓発を行っている。

問② 通学路安全対策について。

(1) 柳ヶ浦駅から柳ヶ浦高校までの区間、暗い中生徒たちが下校している。防犯や安全確保のためにも、街灯の増設は検討できないか。

答 高校前の道路照明の計画はないが、必要となる箇所があれば地域との協議を行っていく。

(2) 柳ヶ浦高校正門前の4車線道路に横断歩道があるが、信号機の設置は要望できないか。

答 地元からも要望が出ており、県公安委員会へ要望している。

問③ 高齢者雇用支援について。  
(1) 市内における高齢者雇用の状況はどのような状況か。

答 65歳以上の常用有効求人倍率は、本年8月時点で0.3と他の年齢層と比較して低い水準である。

(2) 厚生労働省が進める処遇改善・職場環境整備を促す仕組みや、助成金等はどうのように周知しているか。

答 顕在化する人手不足解消等に向け、関係機関と連携して各種支援制度の周知に努める。

(3) 高齢者が働きやすい職場を認証する制度は創設できないか。

答 高齢者雇用に関する諸課題の整理と合わせて、制度設計等について調査研究していく。

問④ 水道管の更新や修繕等の業務を民間に発注しているが、数十年先には人手不足により技術者確保が厳しく、水道管等の更新時期に対応できる労力が不足する事が懸念される。市はどのように考えているか。

答 漏水管修繕や漏水調査を両工事組合に発注することで、より多くの業者に人材育成や技術の継承を行う機会を増やすとともに、安全・安心な水道水の提供に努めている。

# 寄藻川・向野川の整備について



永松 郁 (知新会)

問① 大分県は、「川ビジョン」おおいた2021」をまとめ、寄藻川が対象となっているが、県とどう連携し進めて行くのか。

答 寄藻川および向野川など順次対策を講じ、気象変動による水害リスクの増大に備え、地域の実情や浸水被害の状況を踏まえ、検討を進める。

問② 価格と技術力を評価し、優れた調達を行うため、総合評価落札方式を進めて行くとのことだが、市の考えを伺う。

答 高度な技術が求められる工事等において、総合評価落札方式による発注を行っていく。

問③ 道の駅「いたの」では、防災の核として避難所兼備蓄倉庫を併設している。市の構想および施設の全体スケジュールは。

答 災害時における防災拠点としての活用や、非常用食料・水

等を備蓄できる防災倉庫の整備、EV車の充電施設等の設置も計画している。また、造成工事は、今年度末の完成を予定している。

問④ 若年性アルツハイマーの市の支援等について伺う。

答 若年性認知症の場合、多くの負担を家族が担う傾向があり、当事者が窓口相談に来る状況はないが、若年性認知症の研修会を開催し、支援の在り方を学び連携を深めた。今後も知識等を身につけ、早期の支援につながるよう努めていく。

問⑤ 土木技術者不足は市内企業において大変深刻な状況だが、市の見解は。

答 県が主体となり、市・建設業協会などで「県建設人材育成連絡会」が発足した。連絡会と連携し課題に対する取り組みを行う。

問⑥ 広域ごみ処理施設の供用開始を令和7年7月に迎える。現施設の整備をどう進めるか。

答 現在40年が経過し老朽化が著しく、主要設備は定期整備を毎年実施している。市民生活に支障が生じないよう故障箇所の早期発見に努め、必要に応じた整備を実施していく。

# 救急医療体制の再構築ほか



衛藤義弘 (公明党)

問① 救急医療体制の再構築について。

(1) 救急車の24時間受け入れが必要であり、また、救急指定病院が少ない状況である。市医師会へ対応を協議できないか。

答 市医師会と協議を重ねているが、受け入れ医療機関がないのが実情。今後も県や市医師会等と連携し問題解決を図る。

(2) 救急車が到着し、30分以上待機している現状を見聞させる。搬送先病院が決まらない理由は。

答 治療の専門性から市外の病院に搬送することもある。また、夜間や休日では搬送できる病院が限られている状況。

(3) 救急車の市内・市外病院への搬送割合はどうか。

答 令和3年は、市内が58%、市外は42%で搬送している。

(4) 市内の医師の適正人数と現

在の医師人数はどうか。

答 市内の医師は107人で、人口10万人当たりに換算すると202人。北部保健所管内は225人で若干少ない。

(5) 地域医療について、市長の見解を伺う。

答 重要なテーマと思う。宇佐市は脆弱と思っている。新医師会病院の診療科を増やすことが重要で、今後充実・強化に向け医師の確保を目指して努力する。

問② 宇佐市空き缶等ホイ捨て防止条例が制定された。条例に基づく看板を作成し、自治区へ配布すべきではないか。

答 県の補助金を使い前向きに検討していく。

問③ うつ病対策について、高カロリーや高脂肪の食生活がメタリックヘルスに影響していると研究者が分析している。広報等で訴えることはできないか。

答 栄養士が食生活の面でも提案し訴えている。

問④ 学校トイレの洋式化と長寿命化計画について、手洗い場や小便器の今後の見通しについて。

答 洋式化率は66%となっている。今後も健康や衛生面に配慮した環境整備に取り組む。

# 住みよいまちづくりについて



吉田泰秀 (求道会)

市政一般に対する質問は、本誌では一部を掲載していますが、詳しくは、議会のホームページからインターネット映像をご視聴ください。

- 問① 未だ燃料の高騰や魚価の低下など、苦しい状況にある漁業者に引き続き支援できないか。**
- 答** 燃料費支援については、原油価格が上昇した場合に補填金を交付する国の「漁業経営セーフティネット構築事業」が継続されているので、活用してもらいたい。今後も魚価の推移や原油価格など社会情勢・経済動向に注視していく。
- 問② 政治に関心を持ってもらうために。**
- (1) 今年もコロナの関係で高校生議会が中止になったが、今後このような取り組みを積極的に行うことはどうか。
- 答** こうした取組は、間違いなく若い世代の方々に本市への関心や愛着を高めてもらうきっかけになると思われるので、今後継続して開催したい。
- (2) 社会見学として、小中学生に議会の傍聴などを取り入れてはどうか。
- 答** 市議会本会議の傍聴についても、国や社会の問題を自分の問題として捉え、自ら考え判断し行動する主権者教育の一環として大切な体験的学習であり、効果的な学習方法であると考えている。
- 問③ 宇佐市の四季を通じて、食と観光の魅力を発信することはできないか。**
- 答** 今後も宇佐市の魅力を活かした逸品を観光スポットとともに全国に発信していく。
- 問④ 南一郎平市民劇について。**
- (1) 南一郎平市民劇は大変素晴らしいものであった。今後の公演予定は。
- 答** 今後の公演予定については、出演者の半数以上が学生であり、学業などの兼ね合いで、残念ながら計画はない。
- (2) 市民劇を宇佐市の小学生を対象に観せることはできないか。
- 答** アンケートでも「多くの子どもたちに観せたい」との声をいただいているので、撮影した映像を活用し上映会の開催等について、今後、関係者と協議していく。

# 森林環境譲与税の有効利用



大隈尚人 (政友会)

- 問① 森林環境譲与税は、今後どのように使っていくのか。**
- 答** 本年度は、3600万円が交付される予定で、支障木伐採等16事業を実施し、約4600万円を活用する予定。森林整備、木材利用の促進、人材育成等に効果的に活用し、林業事業者等の参入をしやすいとする。
- 問② 現在、宇佐IC(院内IC)間で4車線化工事をしているが、院内ICから北九州方面へ乗り入れができないか。**
- 答** 重ねて要望を行ってきたが、現在、具体的な方向は決まっていない。引き続き、実現に向け要望を行っていく。
- 問③ WCS用稲の交付金が、10a当たり1万3千円から1万円に決まり、差額の3千円は生産者が畜産業者に支払いをするのはなぜか。**
- 答** 昨年度は、水田利用取組の定着度に応じた支援単価の見直しが行われた。交付金額の変動は避けて通れない。米の需給見直しを踏まえ、水田のフル活用を図っていく。
- 問④ 最近、各地で今までに経験したことのない災害が起きている。過疎地において、急傾斜対策の「受益者数5戸以上」の要件緩和はできないか。**
- 答** 県へ見直しを要望したが、困難との回答であった。市事業では、1割の受益者負担が必要になるが、理解をいただき早期の防災・減災対策に努めたい。
- 問⑤ 鳥獣対策について。**
- (1) 猟師がいなくなり、猪・鹿の被害が著しく増大している。その対策は。
- 答** 猟友会会員は、高齢化の影響等により少しずつ減少しているが、新たに狩猟免許を取得する方を対象に、初心者狩猟講習の費用助成を行い、人材の確保に取り組んでいる。
- (2) 個人で鳥獣防止柵を設置する場合、助成はできないか。
- 答** 国や県の対象にならない単独農家の場合に、市単独の補助事業として資材購入費の3分の2の補助を行っている。

# 11月臨時会の結果

## 総額13億2千万円の 補正予算を可決

令和4年11月14日に臨時会を開催し、エネルギー等の物価高騰の影響を受けている公共交通機関、社会福祉施設、水稲生産者、中小企業等および一般貨物事業者の負担軽減支援や、住民税非課税世帯等に給付金を給付する予算を審議しました。

また、新型コロナウイルス感染症対策としてオミクロン株対応2価ワクチンの接種に係る費用や、台風14号で被災した農地・農業用施設、道路河川等の災害復旧に係る費用についても併せて審議し、可決しました。

# 1月臨時会の結果

## 5億9千8百万円の 補正予算を可決

令和5年1月30日に臨時会を開催し、出産・子育て応援交付金事業、

ぶどう・小ねぎの生産施設整備事業、都市計画道路路上田四日市線整備事業など、国の補正予算関連事業や、宇佐文化会館、家族旅行村「安心院」、院内支所及び山村開発センターの改修などの公共施設整備関連事業を審議し、可決しました。

## 和間小学校の6年生が 議会を傍聴しました

令和4年12月8日に、市立和間小学校の6年生16名の皆さんが、議会を傍聴してくれました。

当日の日程は、市政一般に対する質問で、議員と市長の真剣なやり取りに耳を傾けていました。

市議会是一般に公開され、議会でのような議論や審議がされて決定されるのかを傍聴することができます。

また、本会議はインターネット配信も行っており、パソコンやスマホなどから見ることもできます。



動画配信はこちらから

## 決算特別委員会を 開催しました

令和4年11月7、8日にかけて、決算特別委員会を開催し、令和3年度宇佐市一般会計歳入歳出決算の審査を行いました。

審査の結果、賛成多数で、原案のとおり認定しました。

### 令和3年度一般会計決算の概要

歳入総額	350億9556万円
歳出総額	334億7365万円
形式収支	16億2191万円
翌年度繰越金	2億3662万円
実質収支	13億8529万円
財政調整基金残高	37億 423万円

経常収支比率 91.4%

### 委員会の構成 (12人)

- ◎若山 雅敏 ○衛藤 義弘
  - 井本 裕明 浜永 義機
  - 吉田 泰秀 林 寛
  - 赤野 道和 河野健治朗
  - 今石 靖代 川谷 光紹
  - 河野 睦夫 辛島 光司
- ◎委員長 ○副委員長

## 編集後記

議会活性化特別委員長として2年間、議会だよりの編集に携わりました。その間、議会の活動が伝わりやすい議会報を目指し、委員会内での議論や他の議会との交流・研修も行いながら取り組んでまいりました。しかし、読み易く親しみのあるものには、まだまだ改善すべき点多いと思っています。

今後も議会活動に興味を持っていただく広報誌とするため、これまでの議論や意見を宇佐市議会の活性化や広報誌の充実の糧として、今後の委員会でも議論し取り組んでいきたいと思えます。

皆さまには、毎号の議会報をご覧いただき、充実に向けたご意見等もいただければ幸いです。  
(若山雅敏)

### 《3月定例会の予定》

- 2/13 (開会日) 提案理由の説明
- 2/15 予算特別委員会①
- 2/21・22 一般質問
- 24・27
- 3/1 議案質疑
- 3/6・7 予算特別委員会②③
- 3/8 常任委員会の審査 (総務・産業建設)
- 3/9 常任委員会の審査 (文教福祉)
- 3/15 (閉会日) 委員会の審査報告
- 質疑、討論、採決

※新型コロナウイルス感染症に伴い入場の制限がある場合があります。

# 新年のごあいさつ



議長  
**衛藤博幸**

明けましておめでとうございます。市民の皆さまには、新たな希望と期待に満ち溢れた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

長引く新型コロナウイルス感染症に加え、エネルギー資源等の高騰による物価上昇が私たちの生活に大きな負担となっております。

本年も皆さまの信託に応えることができるよう、議員一同全力で取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。



副議長  
**井本裕明**

市民の皆さまにおかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと存じます。皆さまのご健康を心からお祈りいたします。

未来を担う宇佐っ子が誇れる町を目指して、市政発展に尽くしてまいります。ご指導ご鞭撻をよろしくお願申し上げます。



**河野 健治朗**

コロナ禍の終息を願ひ、穏やかで力強い一年となりますよう、本年もどうぞよろしくお願いたします。



**吉田泰秀**

初心を忘れず、宇佐市の皆さまのために誠心誠意努めてまいります。



**赤野道和**

「二〇三三年相田みつをカレンダーから二生 勉強 一生 青春」今年も学びながら活動していきます。



**若山雅敏**

活力ある宇佐・魅力ある宇佐づくりを目指し、飛躍の年にするよう皆さまとともに全力で頑張っております。



**中本 毅**

全議員が質問や質疑に立ち、職責を全うする議会を目指します。本年も市政へのご注目お願申し上げます。



**川谷光紹**

人が使ってくれた時間は、その人命そのもの。ただただ感謝するばかり。衣食住のその全てが、ありがたい。



**和気伸哉**

新年明けましておめでとうございます。本年が皆さまにとりまして、幸多き年になりますよう心から祈念いたします。



**多田羅 純一**

新年のお喜びを申し上げます。夢を形にできるよう全力を尽くしてまいります。本年もよろしくお願いたします。



**河野睦夫**

「烏飛兎走」本年が、皆様にとって大きな飛躍の一年でありますように。



**衛藤義弘**

皆様方にとって幸福と希望輝く年になりますようご祈念致します。一人の声を大事に議員活動に邁進いたします。



**辛島光司**

新しい年。新たな宇佐市を目指して「ふるさとに心を捧げる。」皆様にとって良き年でありますように。



**今石靖代**

誰もが自分らしく豊かに生きていける社会を。大軍拡には絶対反対。予算は教育・福祉に。今年も頑張ります。



**新開洋一**

おめでとうございます。本年が皆様方にとりまして、より一層素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げます。



**林 寛**

「迎春」改めて新年のご挨拶を申し上げます。原点に立ち帰り「現場第一主義」で皆様の声を市政に届けます。



**大隈尚人**

新春のお喜びを申し上げます。癸卯年希望の年。頑固一徹、院内のおおくまとして誠心誠意全力で頑張ります。



**高橋宜宏**

謹賀新年。今年はずさぎ年。「烏兎匆匆」、馬蹄を重ねず、今年も「獅子搏兎」の精神で議会活動にがんばります。



**中村明美**

卯の年、菟狭も飛躍して欲しいものです。生産年齢が拡大する中、元気な高齢者の範となれるよう頑張ります。



**永松 郁**

兎起鼻拳(ときふぎよ)のごとく、何事もスピードが命、色々な事に挑戦する一年にしたいと思います。



**浜永義機**

一年の計は元日にあり、百年の計は子教えるにあり。寛容と忍耐を大切に、信無くんば立たずの心で頑張ります。